

2023年3月1日発行

当研究会共同代表今井茂樹氏のご逝去を悼む。

## 最近の状況

ロシアによるウクライナ侵攻開始から1年、両国だけではなく西側諸国でも軍事力の強化を加速させており、結果として、さらに大量の化石燃料が将来的に燃やされ、温暖効果ガスの排出は増え、政治的関心が喫緊の課題であるべき気候変動から逸れ、更に気候変動対策に割くべき資源が失われ、今後の地球温暖化対策に悪影響を及ぼす可能性があります。こうした中で、今後の地球温暖化対策の行方を強く心配されていた今井茂樹さんが2月11日に逝去されました。

研究会からの追悼文を水道公論3月号に掲載します。



ビオラ

## 2月定例会を開催

新型コロナ新規感染者数の減少に伴い、2月の定例会は2月22日（水）12時半から14時に日本水道会館8階第5会議室において開催（zoom併用）。参加者は8名（zoom参加2名を含む）。講師は、森本さんが大阪からオンラインで務め、資料に基づき、水道事業のDX（デジタルトランスフォーメーション）の動向を大阪市の例も織り込んで説明した。参加者からは、DX.GXの定義への疑義も含め、活発な意見交換が行われた。水道公論「要点を探る」には、4月号で掲載予定。

最後に、今井さんへの追悼文が水道公論3月号に掲載することが紹介され、がん治療を続けながらも、気候変動への取組の在り方についての意見を2つの論文にまとめ上げられた今井さんの熱意溢れる取組を偲んだ。

## 水道公論3月号の内容

「海外水ビジネスの要点」シリーズでは森本達男氏らによる「水道事業と環境会計」を、コラム「海外ビジネスの眼」では「水道と鉄道」を、名古屋講演会の記録連載では、鈴木康二氏の「ベトナムを含むアジアのPPP法令と水ビジネス」を掲載。

## 定例会・幹事会の開催について

- 幹事会は、3月17日（金）（定例会の前の週金曜日）20時から開催されます。4月と5月の定例会や今後の予定確認等を行う予定。
- 定例会は、2月に引き続き、市ヶ谷水道会館での会議室開催を予定。3月22日（水）12時半から14時半（「水・衛生分野における官民パートナーシップについて ー海外の事例ー」内藤和弥さん（東京水道サービス））

## 研究会への参加者募集について

- 研究会への参加のお問い合わせ、ご意見、ご提案をお待ちしています。
- 研究会の開催は、東京都内の会議室（市ヶ谷の水道会館など）での対面開催（zoom併用）の場合は、12:30～14:30の時間帯で、zoomのみでの開催の場合は、同時間帯か、19:30～21:00の時間帯で実施しています。開催日程やテーマは、その月の1日に発行されるNews Letterでお知らせしています。
- お問い合わせは、事務局宛のメール（下記）をご活用ください

## 水道公論コラム原稿を募集しています

字数は1500から1600字、「である調」、ペンネーム（実名は出さず）で原稿を募集しています。連絡は山村まで。